

一勝地小だより

<https://es.higo.ed.jp/ishouchi/>

第10号
R5.3.22発行
文責：梅本 和高



1年間の締めくくりに

14人の子供たちが一勝地小学校を巣立っていきます。

卒業生に、保護者の皆様に心からお祝いを申し上げますとともに、直接・間接的に指導・支援に関わってくださった多くの方々にも厚くお礼申し上げます。

子供たちは、卒業式を境にして、自立への道をまた一歩大きく踏み出します。卒業式は出口であり、そして入口でもあります。そんな卒業式が、いよいよ明日となります。他の学年の子供たちも、次の学年への一歩を踏み出せるように、1年間のまとめに取り組んでいます。

さて、「思いやりで一人一人が輝く一勝地小」をスローガンに取り組んできた1年間でした。

1年間を通して取り組んできた思いやりの木も思いやりの葉っぱでいっぱいになりました。また、校長室前の掲示板も、友達にしてもらって嬉しかったことがいっぱいになりました。子供たちは、「思いやりの心」を意識しながら学校生活を送ってきたことがよく分かりました。

この思いやりの心を忘れず、どのような行動をしたら相手の心が温くなるのかを考えて行ってほしいです。来年度は、更にバージョンアップして、意識した行動が取れるようになってほしいと思います。



卒業していく6年生とともに、令和4年度の総まとめをし、希望に燃える新入生と共に新しい年度を迎えたいと思います。今年度も、保護者や地域の皆様には大変お世話に成り、ありがとうございました。

学校評価への御協力ありがとうございました

学校評価保護者アンケートへの御協力ありがとうございました。アンケートの集計結果を先日、お配りいたしました。

集計の結果、ほとんどの項目で肯定的な意見が8割以上でした。

本年度、重点的に取り組んできた「思いやりの心の育成」に関して、「間違いや失敗を認め合うことができる」「子供が活躍したり、みんなの役に立ったりするような場がある」については、肯定的な評価が8割以上でした。

しかしながら「友達の最後まで聞くことができる」「学校は将来の夢や希望を育む教育ができています」に対する評価が6割～7割のとどまりました。まずは相手の気持ちを受け止めることや自己肯定感を高める取組をあらゆる場面で取り組む必要があると感じています。

もう一つ、アンケートの回答で「分からない」という回答が多いことも課題であると感じています。学校の様子については、学校だよりやHP等でお知らせしていますが、さらにこれらの取組を充実させるだけではなく、保護者・地域の方に学校に来てもらったり、私達が積極的に地域に出かけたりすることで学校の様子を知ってもらうようにしていきます。



球泉洞でのクリーン作戦

6年生を送る会・お別れ遠足

3月3日は、お別れ遠足でした。体育館での「6年生を送る会」では、校舎全体を使った縦割り班での、校内ウォークラリーを行いました。

その後、スクールバスで学校を出発し、一勝地果実協同組合選果場で降り、徒歩で田舎の体験交流館さんがうらへ向かいました。お弁当を食べ、全校児童が交じって、サッカーやバレーボール、竹とんぼ飛ばしなどをして楽しみました。すばらしい天候のもと、楽しい時間を過ごすことができました。



球磨清流学園開校に向けて

来年度は、いよいよ、一勝地小学校として最後と1年になります。

一勝地小学校では、渡小学校、球磨中学校との連携を一層深め、子供たちどうしや中学校の先生と一緒に学習する機会を増やしていき、義務教育学校へスムーズに移行できるよう取り組んでいきます。

また、記念誌の作成、式典の準備などへ移行の準備を進めています。

一勝地小学校、渡小学校そして球磨中学校の3校が統合してできる義務教育学校「球磨清流学園」の開校に向けた準備とともに、一勝地小学校の締めくくりをしっかりと行って参ります。来年度も、保護者・地域の皆様の御理解と御協力をよろしくお願いいたします。